メルコスールのFTA交渉・事前準備進捗状況

アジア

交渉開始模索

北米

米国抜き交渉本格化

欧州

対EU交渉大詰め

①日本メルコスールEPA

伯政府、17年上期に対韓国と併せてタリフスケジュール要望等業界ヒアリング実施。

- ②メルコスール・韓国FTA
- 事前協議終了。韓伯首脳18年3 月に同年上期中交渉開始合意。
- ③メルコスール・中国FTA

18年1月に中ウ外相会談 中国:FTA交渉開始追及、研究

会実施準備はできていると言及。

- ウ:18年下期メルコスール議長 国、対中FTA交渉推進働き掛け
- (→次官級会議開始か?)
- ④メルコスール・シンカ・ホ゜ールFTA
- 17年12月事前協議開始発表。(シンガポール経由ASEANアクセス模索)
- ⑤メルコスール・インドACP
- 16年優遇品国拡大交渉開始
- ⑥メルコスール・ASEAN

2008年、2009年以来中断した外相会談を17年9月実施。

①ブラジル・メキシコ(ACE53)

改定交渉中。対象拡大(関税削 減品目、条項)、18年上期合意 見通し。

- ②メルコスール・カナダFTA 事前協議終了。18年3月交渉開始。
- ③ブラジル・メキシコ自動車協 定(ACE55)

19年3月以降の無関税割当と原 産地規則改定協議に向けて18 年後半が交渉山場。

①メルコスールEU・FTA

99枠組み協力条約発効後2010年再開。12年中断。16年再開。

18年上期合意か?

(パ外相:18年3月時点で合意に4週間必要。

- テメル伯大統領:任期中合意へ意欲)
- ②メルコスール・EFTA・FTA 17年1月事前協議終了同年6月 実質交渉開始。
- ③メルコスール・英国FTA 20年FU離脱後個別交渉開始

メルコスールのFTA等通商協定締結状況

メルコスー	ルに関する主な出来事	
1985年	イグアス宣言(経済統合推進で合意)	
1991年	アスンシオン条約。メルコスール発足。	市場開放の進捗
1994年	オーロプレット議定書	_
1996年	チリ、ボリビアとFTA締結(両国は準加盟国)	
1998年	ウシュアイア議定書(民主主義条項)	
2002年	オリボス議定書(常設の仲裁裁判所設置)	- <mark>ブラジル、アルゼンチンの経済混乱</mark>
2005年	コロンビア、エクアドル、ベネズエラとFTA締結(準加盟)	
2005年	メルコスール議会(Parlasur)設置決定	
2006年	ペルーとFTA締結(準加盟)	
	ベネズエラ加盟議定書署名	
2009年	インドと特恵関税協定発効	
2010年	イスラエルとのFTA発効	
	エジプトとのFTA締結	ブラジル・アルゼンチン左傾化で 政治的色彩強める
2011年	パレスチナとのFTA締結(未発効)	
2012年	パラグアイが加盟資格停止される(ルゴ大統領弾劾が民主主 義条項に反するとして)⇒2013年に資格復帰	
	ベネズエラ正式加盟	
2015年	ボリビア加盟議定書署名	
2016年	SACU(南部アフリカ関税同盟)との特恵関税協定発効	- ブラジル、アルゼンチン政権交代
2017年	エジプトとのFTA発効	中南米域外とのFTA加速へ

中南米主要国のFTA (関税同盟含む) ネットワーク (2017年6月1日時点)

国·地域名		締結相手国·地域						
		アジア	北米	中米	南米	欧州	その他	国数
チリ		日、韓、中、シンガ ポール、マレーシア、ベト ナム、タイ、香港	米、加、墨	CACM(5), N°+7	メルコスール(4)、コロンビア、エクアト ル、ヘ゜ルー、ホ゛リビア、ヘ゛ネス゛エラ	EU(28), EFTA(4)	豪、ブルネイ、 NZ、トルコ	62
メキシコ		日、(シンカ゛ホ゜ール)、 (マレーシア)、(ヘ゛トナ ム)、(フ゛ルネイ)	米、加	CACM(5), N°+7	コロンヒ [*] ア、ヘ [°] ルー、チリ、ウルク [*] アイ、 ホ [*] リヒ [*] ア	EU(28), EFTA(4)	イスラエル、 (豪)、(NZ)	47
アンデス 共同体 (CAN)	ペルー	日、韓、中、タイ、シンカ゛ ポール、(マレーシア)、 (ヘ゛トナム)、(フ゛ルネイ)	米、加、墨		メルコスール(4)、コロンピア、エクアト ル、ホ゛リピア、チリ、ヘ゛ネス゛エラ	EU(28), EFTA(4)	(豪)、(NZ)	52
	コロンビア	韓国	米、加、墨	グアテマラ、エルサルハ゛ ト゛ル、ホンシ゛ュラス、コス タリカ、(ハ゜ナマ)	メルコスール(4)、エクアト゛ル、ヘ゜ルー、 ホ゛リヒ゛ア、チリ、ヘ゛ネス゛エラ	EU(28), EFTA(4)	(イスラエル)	49
	ボリビア		墨		メルコスール(4)、コロンビア、エクアト゛ ル、ヘ゜ルー、チリ、ヘ゛ネス゛エラ			10
	エクアドル				メルコスール(4)、コロンビア、ペルー、 ホ゛リヒ゛ア、チリ、ヘ゛ネス゛エラ	EU(28)		37
パナマ		台湾、シンカ゛ホ゜ール	米、加、墨	CACM(5)	ヘ゜ルー、チリ、(コロンヒ゛ア)	EU(28), EFTA(4)	ドミニカ共和国	45
中米共同 市場 (CACM)	コスタリカ	中国、シンガポール	米、加、墨	CACM(4)、ハ°ナマ	コロンヒ・ア、チリ、ヘ゜ルー	EU(28), EFTA(4)	トミニカ共和国、 CARICOM(4)	50
	ホンジュラス	台湾	米、加、墨	CACM(4)、ハ°ナマ	コロンビア、チリ、ヘ゜ルー	EU(28)	ドミニカ共和国	41
	グアテマラ	台湾	米、墨	CACM(4)、パナマ	コロンヒ゛ア、チリ、(ヘ゜ルー)	EU(28)	ドミニカ共和国	39
	エルサルバドル	台湾	米、墨	CACM(4)、パナマ	コロンヒ゛ア、チリ	EU(28)	ドミニカ共和国	39
	ニカラグア	台湾	米、墨	CACM(4)、パナマ	チリ	EU(28)	ドミニカ共和国	38
ドミニカ共和国			米	CACM(5)、ハ°ナマ			CARICOM(6)	13
南米南部 共同市場 (メルコスール)	ウルグアイ		墨		へ゛ネス゛エラ、コロンヒ゛ア、エクアト゛ル、ヘ゜ ルー、ホ゛リヒ゛ア、チリ、メルコスール(3)		イスラエル	1,1
	ブラジル				へ゛ネス゛エラ、コロンヒ゛ア、エクアト゛ル、ヘ゜ ルー、ホ゛リヒ゛ア、チリ、メルコスール(3)		イスラエル	10
	パラグアイ				へ゛ネス゛エラ、コロンヒ゛ア、エクアト゛ル、ヘ゜ ルー、ホ゛リヒ゛ア、チリ、メルコスール(3)		イスラエル	10
	アルゼンチン				へ、ネス、エラ、コロンヒ、ア、エクアト、ル、へ。 ルー、ホ、リヒ、ア、チリ、メルコスール(3)		イスラエル	10
	ベネズエラ				メルコスール(4)、コロンビア、エクアト゛ ル、ホ゛リヒ゛ア、ヘ゜ルー、チリ			9

2017年9月にエ ジプトとのFTAも 発効(オリジナル 4カ国と)

(注)括弧内の国・地域は協定署名済みだが未発効の国・地域。

(出所)ジェトロ海外調査部竹下中南米主幹講演資料

日本メルコスールEPAで想定される協定雛形



CP-TPP



メルコスールEU・FTA

内国民待遇及び物品の市場アクセス

原産地規則及び原産地手続

繊維及び繊維製品

税関当局及び貿易円滑化

貿易救済

衛生植物検疫(SPS)措置

貿易の技術的障害(TBT)

投資

国境を越えるサービスの貿易

金融サービス、ビジネス関係者の一時的な入国、電気通信、電子商取引

政府調達

競争政策

国有企業及び指定独占企業

知的財産

労働、環境

協力及び能力開発

競争力及びビジネスの円滑化

開発

中小企業

規制の整合性

透明性及び腐敗行為の防止

運用及び制度に関する規定

紛争解決

〈凍結条項〉急送少額貨物(5.7.1(f)の第2文)、ISDS(投資許可、投資合意)関連規定(第9章)、急送便附属書(附属書10−B5及び6)、金融サービス最低基準待遇関連規定(11.2等)、電気通信紛争解決(13.21.1(d))、政府調達(参加条件)(15.8.5)、政府調達(追加的交渉)(15.24.2の一部)、知的財産の内国民待遇(18.8(脚注4の第3~4文))、特許対象事項(18.37.2、18.37.4の第2文)、審査遅延に基づく特許期間延長(18.46)、医薬承認審査に基づく特許期間延長(18.48)、一般医薬品データ保護(18.50)、生物製剤データ保護(18.51)、著作権等の保護期間(18.63)、技術的保護手段(18.68)、権利管理情報(18.69)、衛星・ケーブル信号の保護(18.79)、インターネット・サービス・プロバイダ(18.82、附属書18−E、附属書18−F)、保存及び貿易(20.17.5の一部等)、医薬品・医療機器に関する透明性(附属書26−A.3)

モノ貿易

ワイン・スピリッツ付属書

原産地規則

(特別規則:化学品、農業・同加工品、繊維)

税関と貿易円滑化

(含む相互事務補助支援・不正防止条項)

貿易の技術的障壁(TBT)

(EU提案: 適合性評価基準付属書、自動車付属書)

衛生·植物検疫措置(SPS)

(EU提案:動物福祉、抗菌性耐性、バイオ・食品安全で協力

対話提案)

貿易防衛措置

補助金

国営企業

競争政策

紛争解決(EU提案:農業セーフガード)

サービスと設立

(一般条項、自然人の一時的移動、相互承認協定MRAs、国内規則、資本移動、金融サービス、電気通信、金融サービス (含むデータ移動)、国際海上輸送サービス、郵便サービス、

電子商取引、EU提案:エネルギーサービス)

政府調達

知的財産(含む地理的表示)

貿易と持続可能開発

中小企業(EU提案:輸出ヘルプテスク)

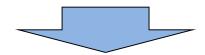
制度問題(含む透明性)

進出日本企業等からの要望・関心事項 (アンケート結果補足)

他国に劣後しないための情報収集体制の確立

対EU、韓国FTAは交渉中・交渉予定段階で協定内容不明 (特にモノの自由化以外は合意内容を想定し難い)

生産・業務拠点グローバル化による総合的な判断が困難 任期との関係で喫緊課題でない。



<u>対策</u>

①日本メルコスールEPA準備タスクフォースを通じた情報提供・研究会実施

EPA・FTA基礎知識:原産地規則等、サービス条項等モノの自由化以外の条項研究、CP-TPP、EU・FTA、韓国FTA研究、中国の動き、日本メキシコEPA対応経緯・教訓など

②EPAアンケートの継続実施

進出日本企業等からの要望・関心事項 (アンケート結果補足)

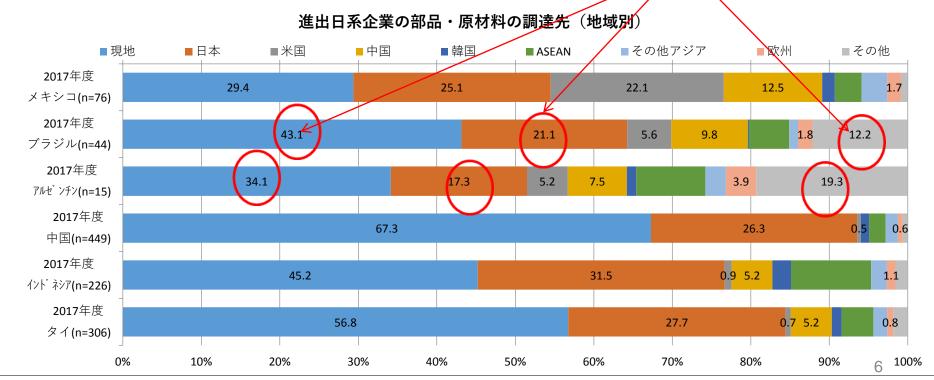
コスト低減による現地生産・営業拠点の競争力維持

設備•工具調達

(例) 設備投資コスト削減、EU製が安くなれば同国から調達する可能性も。 ブラジルの資本財輸入税低減規定(Ex-Tarifárioシステム)は事実上利用困難。

部品資材調達

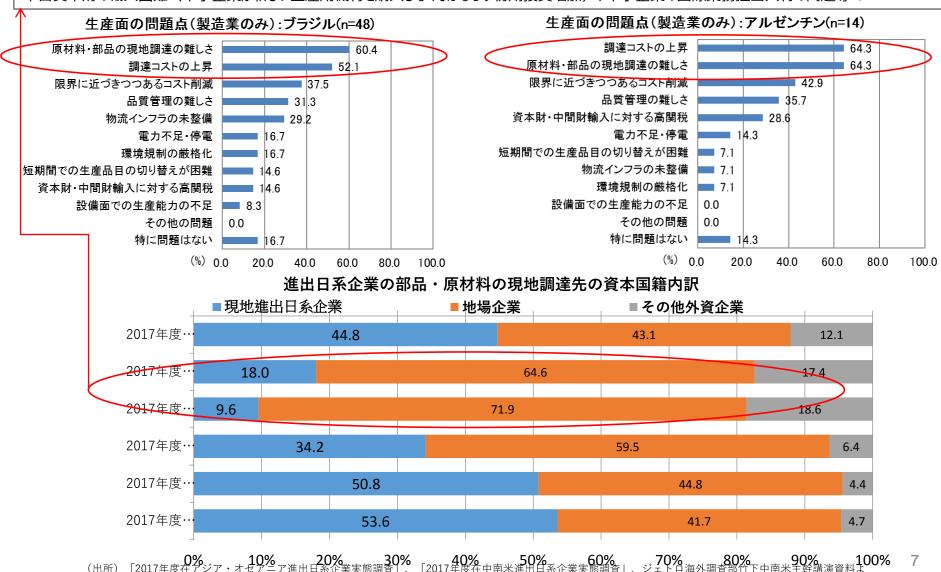
(例)生産面で最大の課題。自動車EV・HVへの対応でも原産地規則完全累積制度の活用して伯亜間の原産地比率をクリアできないか。



直面している生産面での問題点

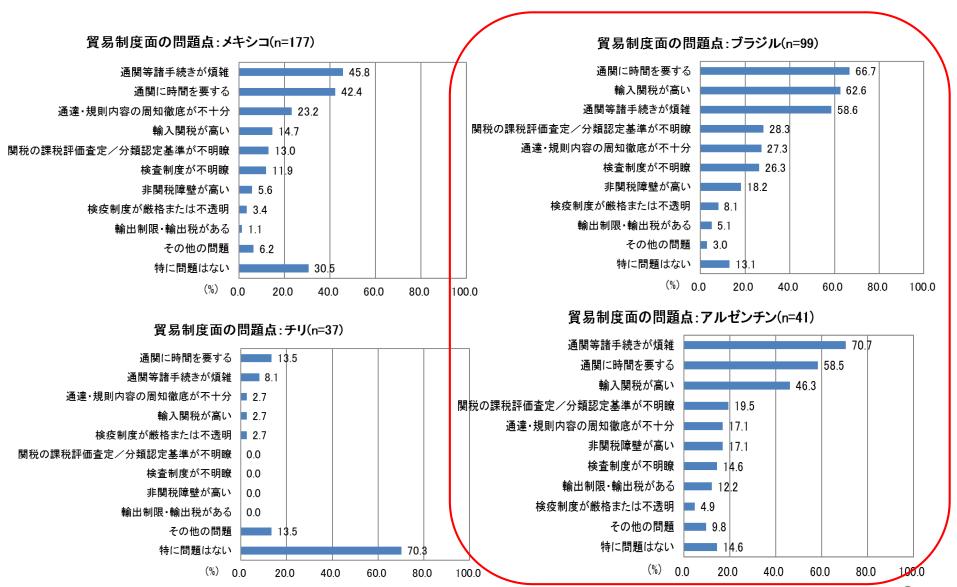
アルゼンチン、ブラジル進出企業(製造業)の最大の課題は「現地における原材料部品の現地調達の難しさ」

原材料・部品企業の進出余地があるともいえるが問題は・・・当該部品などを組み込んだ完成品の市場規模(サプライヤーからみた場合の発注量規模感)、中古資本財の輸入困難(中小企業が新しい生産用機材を購入しなくてはならず初期投資増加)、中小企業の国際業務担当人材の問題等々・・・



直面している貿易制度面での問題点

貿易制度面での問題は、太平洋同盟諸国とメルコスールの差が最も出た項目



進出日本企業等からの要望・関心事項 (アンケート結果補足)

コスト低減による現地生産・営業拠点の競争力維持

貿易円滑化、行政手続き簡素化

税関、検疫:ANVISA、規格基準:INMETRO、知財:INPI

(例) 審査迅速化、JIS規格との相互調和、関連機関当局の協力推進。

フリーゾーンのメリット維持への配慮(電気電子、二輪車、自動車部品など)

フリーゾーン等は協定対象? 相対的なメリット低下懸念

メルコスール域内扱い:マナウス、ティエラ・デル・フエゴ

メルコスール域外扱い:ウルグアイ国内フリーゾーン、パラグアイ:シウダー・デル・エステ

メルコスール域外扱い:パラグアイ・マキラ制度

輸出加工区(ZPE)

その留意事項(アンケート結果補足)

中小企業による協定利用促進

日本製農水産輸出促進やスタートアップ企業促進等の観点からも重要。CP-TPPやメル コスールEU・FTAでも中小企業条項が含まれる。

(例) EU側はWEBサイトを通じて協定本文・関税削減スケジュール、原産地規則、ビジネス機会、通 関手続き・申請書、知財・原産地呼称、技術基準、検疫等の解説情報やコンタクト先掲載、関連機関 と連携したコンタクト先での問い合わせ対応、等を要望。